

令和3年度 学校運営評価（自己評価結果一覧）

4. 非常にあてはまる 3. かなりあてはまる 2. ややあてはまらない 1. ほとんどあてはまらない

	教育内容	評価項目		評価項目平均
1	教育理念 教育目的	1	教育理念・教育目的は自養成所の特徴を示しており、法との整合性はあるか	3.5
		2	教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針となるように具体的に明示され、実際に指針となっているか	3.4
2	教育目標	1	教育目標は、教育理念、教育目的と一貫性があるか	3.5
3	教育課程・経営	1	教職員全体は、教育理念・教育目的に向けて一貫した活動を行っているか	3.4
		2	教育目標にあったカリキュラムが設定されているか	3.3
		3	他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えているか	2.8
		4	教育課程を評価する体系が整っているか、また、そのデータと評価者のプライバシーが守られているか	3.2
		5	教員の担当科目と担当時間数は専門性を発揮できるように配分されているか	3.0
		6	教員が授業の準備をする時間がとれる体制を整えているか	2.5
		7	教員が自ら成長できるよう、自己研鑽、相互研鑽のシステムを整えているか	2.8
		8	臨床実習施設は、教育理念・教育目的に沿って選択されているか	3.1
		9	安全教育、安全対策を計画的に行っているか	3.0
4	教授・学習・評価過程	1	教育課程の構造図とその概要について、学生便覧に明示し、年度初めのガイダンスで学生に説明しているか	3.7
		2	科目目標にそった授業内容であるか	3.5
		3	授業内容が講義概要に明示され、事前に学生に周知されているか	3.7
		4	授業計画は科目間の関連、発展性について考慮されているか	3.0
		5	教員は学習者の実態を把握し、授業内容に応じて授業形態や方法の工夫を行っているか	3.5
		6	教員は、看護師国家試験の合格率を上げる取り組みをしているか	3.7
		7	教員は、看護師国家試験不合格者の対策をとっているか	3.3
		8	教員は、学内および実習において学生を尊重し、熱心に支援しているか	3.6
		9	授業について、学生の評価を把握し、授業に反映しているか	3.5
		10	単位認定のための方法及び評価については、学習の手引き・実習要項・講義概要で学生に公表しているか	3.7
		11	単位認定のための評価については、多様な評価方法を取り入れ、その評価が学生の課題の明確化につながっているか	3.0
		12	個人情報保護方針を定め、日々学生に指導しているか	3.4
5	経営・管理過程	1	養成所の管理運営に関する管理者の考えが明確に示されている	3.0
		2	養成所の管理運営に関する管理者の考えを職員は理解している	3.1
		3	組織図は妥当でかつ明確である	2.8
		4	組織運営において、職員は建設的な意見が言える環境か	2.6

5	経営・管理過程	5	組織運営において、職員それぞれの役割が明確かつ機能的なものである	2.9		
		6	職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解している	3.2		
		7	教育目標達成のための施設、設備、教材を整備し、活用している	3.5		
		8	教職員の福利厚生に関する規定を明確にしている	2.7		
		9	職員の職務が円滑に進み、学生の学校生活が快適となるような設備・環境が整っている	3.5		
		10	学生が休息・親睦・交流などを行えるスペースがある	3.3		
		11	学生の心身両面で健康管理体制を整えている	3.5		
		12	学生の学修支援体制を整えている	3.5		
		13	学生生活・進学・就職に関して学生の相談に応じている	3.5		
		14	教育・学習活動に関して、保護者への情報提供を行っている	3.0		
		15	養成所としての役割を地域にアピールしている	2.9		
		16	自己点検・自己評価の意味と目的が明確で職員は理解している	3.4		
		17	自己点検・自己目標を前向きにとらえ、より良い教育となるよう生かしている	3.4		
		6	入学	1	アドミッションポリシーを踏まえた学生を入学させているか	2.8
				2	入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析しているか	2.8
		7	卒業・就業・進学	1	卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っているか	3.0
				2	卒業生の到達状況、就職・進学状況についての分析結果は、教育理念、教育目的、教育目標、授業との整合性はあるか	3.2
3	卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にし教育を改善するために、就業先での情報交換や調査の実施ができる体制を整えているか			2.5		
4	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理し、教育理念、教育目標、授業の展開に活用しているか			2.4		
8	地域社会 国際交流	1	社会との連携に向けて、地域のニーズを把握し、看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っているか	2.9		
		2	養成所の教育活動について、地域のニーズを把握する手段、養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っているか	2.6		
		3	地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れているか	3.0		
		4	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	2.9		
		5	国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えているか	2.5		
		6	海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制があるか	1.5		
		7	留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制があるか	1.4		
9	研究	1	教員が計画的に研究・調査活動を行えるよう体制を整えているか	2.4		
		2	研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にあるか	2.2		

令和3年度 学生満足度調査

4. 非常に当てはまる 3. かなり当てはまる 2. あまり当てはまらない 1. 当てはまらない

教育内容	調査項目	3学年平均	3年生(18期生)					2年生(19期生)					1年生(20期生)								
			調査項目平均	計				調査項目平均	計				調査項目平均	計				調査項目平均			
				4	3	2	1		4	3	2	1		4	3	2	1				
1	教育理念	学校の教育理念を知っている	2.3	2	1	9	16	11	3	2.5	5	14	14	5	2.5	2.5	7	13	14	6	2.5
2	教育目的	学校の教育目的を知っている	2.4	2	1	11	13	12	2	2.6	6	17	10	5	2.6	2.5	6	14	15	5	2.5
3	教育目標	学校の教育目標を知っている	2.4	2	1	11	12	13	2	2.7	6	18	9	5	2.7	2.6	6	15	13	5	2.6
4	教育課程経営	段階的に学びやすいカリキュラムになっている	2.7	2.6	2	18	17	0	2.5	2.9	4	25	9	0	2.8	2.8	5	21	13	1	2.8
		学校行事に満足している		2.3	2	14	13	8		2.3	1	14	20	3		2.2	5	8	17	10	
		学年目標を意識して教育を受けている		2.2	1	13	14	9		2.6	1	21	15	1		2.8	6	21	10	2	
		各授業の単位認定の判定は納得できる		2.3	3	13	13	8		2.6	2	22	12	2		2.8	8	19	11	2	
		専門性のある授業内容である		2.9	8	17	11	1		3.1	7	27	4	0		3.1	10	23	6	1	
		教員は良く勉強し学生に伝えている		2.8	4	23	8	2		3	8	23	7	0		3	9	23	7	1	
		わかりやすく教えるために日々努力している教員が多い		2.8	7	17	11	2		3.1	8	27	3	0		3	11	16	13	0	
		実習施設は学習しやすい環境に整っている		2.7	2	24	10	1		3	7	23	7	0		2.7	9	15	12	4	
		実習施設は指導体制が整っている		2.5	1	18	16	2		3	6	26	6	0		2.8	10	12	16	2	
		教員と実習場所の看護師(指導者)の連携が取れている		2.3	3	10	18	5		2.8	4	23	10	0		2.6	7	15	11	6	
		教員の実習指導に満足している		2.5	5	13	15	4		2.8	3	22	10	0		2.6	7	13	15	3	
5	教授・学習・評価過程	教え方に工夫をしている外部講師が多い	2.7	2.4	1	18	13	5	2.5	2.7	2	23	12	1	2.8	2.7	7	16	14	3	2.8
		教え方に工夫をしている教員が多い		2.7	4	19	12	2		2.9	4	28	6	0		2.8	8	20	8.0	4	
		学生便覧や学習の手引きは学習の参考になる		2.2	1	14	13	9		3	4	29	5	0		2.9	11	18	8	3	
		教職員は学生の話をよく聞いている		2.7	4	19	12	2		2.9	7	21	10	0		2.7	7	16	13	4	
		教職員はどの学生に対しても平等である		2.3	2	12	17	6		2.3	2	13	18	5		2.7	11	9	16	4	
		教職員は学生のプライバシーの保護に努めている		2.4	2	16	15	4		2.9	6	24	8	0		3.1	12	22	5	1	
		カウンセリングルームが活用しやすいように整備されている		2.7	6	18	9	4		2.8	3	24	10	1		2.9	12	16	7	5	
6	経営・管理過程	教室・実習室・更衣室等は授業や生活がしやすいように整備されている	2.9	2.5	4	17	11	5	2.8	2.6	2	22	11	3	2.9	3	12	15	9	2	3
		図書室は活用しやすく整備されている		2.8	4	22	10	1		3	4	30	4	0		3	12	17	11	0	
		情報処理室は活用しやすく整備されている		2.8	3	26	7	1		3	5	29	4	0		2.9	8	19	12	0	
		各教科の備品や教材教具が活用されている		2.7	2	25	8	2		3	5	28	4	0		3.1	11	21	7	1	
		実習室の備品等が揃っている		2.8	4	22	9	2		3.1	7	28	3	0		3.1	14	16	8	2	
		学校は、奨学金制度についての情報を知らせている		2.8	5	21	8	3		2.9	5	24	8	1		3.3	20	14	5	1	
		緊急時の対応については知らせている		2.9	5	24	7	1		2.9	6	25	5	2		3.2	15	19	4	2	
		健康管理に対する体制が整っている		2.9	7	19	10	0		2.9	6	24	8	0		3	16	11	8	4	
		教育活動に必要な情報について学生や保護者への周知に努めている		2.6	4	18	12	3		2.6	3	19	15	1		3	10	20	8	2	
7	進就卒業職業	学校は就職や進学についての情報を知らせている	2.9	2.5	3	17	12	5	2.8	2.4	1	19	12	6	2.8	3	13	14	12	1	3.2
		国家試験に対する情報を知らせている		3	6	25	6	0		3	5	28	5	0		3.3	18	17	4	1	
		国家試験対策が計画的に実施されている		2.8	5	19	13	0		2.9	5	26	6	1		3.3	18	17	4	1	
8	国際交流	保護者や地域の人々と交流する機会を与えている	2.4	2.2	1	16	11	9	2.2	2.2	2	14	12	9	2.5	2.6	7	13	15	5	2.6
		国際的視野を広げるために授業科目が役立っている		2.2	1	15	12	9		2.7	4	19	13	2		2.6	8	15	11	6	
9	その他	この学校で学べて良かったと思う	2.8	2.8	5	22	9	1	2.8	2.8	3	25	10	0	2.8	2.9	11	15	11	3	2.9
平均			2.6	3.3					2.5	2.8				2.7	2.9					2.8	

令和3年度学校関係者評価委員会報告（令和4年3月31日）

1. 学校関係者評価委員会開催

- ・日 時 令和4年3月26日(土) 午後2時～3時
- ・出席者 実習病院2名、在校生保護者2名、卒業生2名
- ・本校出席者 副校長、事務長、教務主任、専任教員 計5名

- 1) 開会
- 2) 自己紹介
- 3) 副校長挨拶
 - ・専修学校における学校評価の目的について
- 4) 議題
 - (1) 学校運営自己評価及び学生満足度調査の回収率について
 - (2) 学校運営自己評価及び学生満足度調査の結果内容説明
- 5) 質疑・応答
- 6) その他

2. 問題点と今後の改善に向けて

(1) 学生満足度調査結果（主なものを抜粋 評価ポイントが低かったところ）説明

教育内容	調査項目・評価(ポイント)	改善にむけて・その他
教育理念・教育目標	学校の教育理念・教育目的・目標を知っている (2.3～2.4)	・例年の入学時学生ガイダンスでの説明に加え、3年前から教育理念・教育目標を、学生掲示板や学生教室に掲示し、学生の目に留まるようにしている。 ・今後も、講義の中でも、意識的に説明を行っていく。
教育課程・経営	学校行事に満足している (2.2～2.3)	・コロナ禍ではあったが、教科外活動や学校行事を全面的に中止するのではなく、三密を避け、オンラインを活用したりして学生交流など工夫して行った。しかし、学校祭の縮小開催や宿泊研修を日帰りに変更する等により、学生の満足度が低かったように思う。
教授・学習・評価課程	教職員はどの学生に対しても平等である (2.3～2.7)	・教員の自己評価は、学生を尊重し熱心に支援しているが3.6ポイントとなっているが、学生の調査ではポイントが低かった。 ・今後に向けて、学生の承認要求や自己

		肯定感の低さなどについて検討を重ねていく。また、教員も授業評価などを参考に教育観や指導方法など見直していく。
	その他	・前年に引き続き学内の感染予防を徹底した。4月からは対面授業を開始したが、コロナの感染状況によっては、オンライン授業、分散登校になった時期もあった。 ・また、令和2年度から、オンライン授業が多かったため、学生の学習意欲が低下し、学力低下がみられ留年者が数名いた。補習授業などを行ってはいるが、オンライン授業が多かったため、学力が伸び悩む学生もあった。
地域社会・国際交流	保護者や地域の人々と交流する機会を与えている (2.2～2.6)	・月1回学校周辺の清掃活動を毎年行っている。また令和3年度は、樺原市主催のフェスティバル等で感染予報ボランティア活動に参加することができ、学生にとっては、貴重な経験であった。

(2) 質疑・応答(主なもの)

○留年者が数名あったと説明を受けたが、コロナ禍であったことも影響しているのか。

●入学当初からオンライン授業が多かった。本来なら、学習指導や生活指導を学校で行うが、入学当初からオンライン授業となったため、1年生からの基礎的な勉強が不十分となり、わからないまま授業が進んで行き単位を取ることができなかった。また、その他の学生で学校に登校することもままならなかったため、生活習慣についても、身につけていないところが見受けられた。

○今後について、留年しても看護師になりたいという意欲は持たれているのか。

●学生本人は、自分は一生懸命勉強していると思っていたが、今回単位を落としたことにより、もっと勉強しないといけないという思いが芽生えて、看護師になるために、今まで以上に真剣に勉強に取り組んでいるところである。

○コロナ禍のオンライン授業ということで大変であったと思うが、単位を落とした方達もこれからも頑張りたい。